


最優秀賞

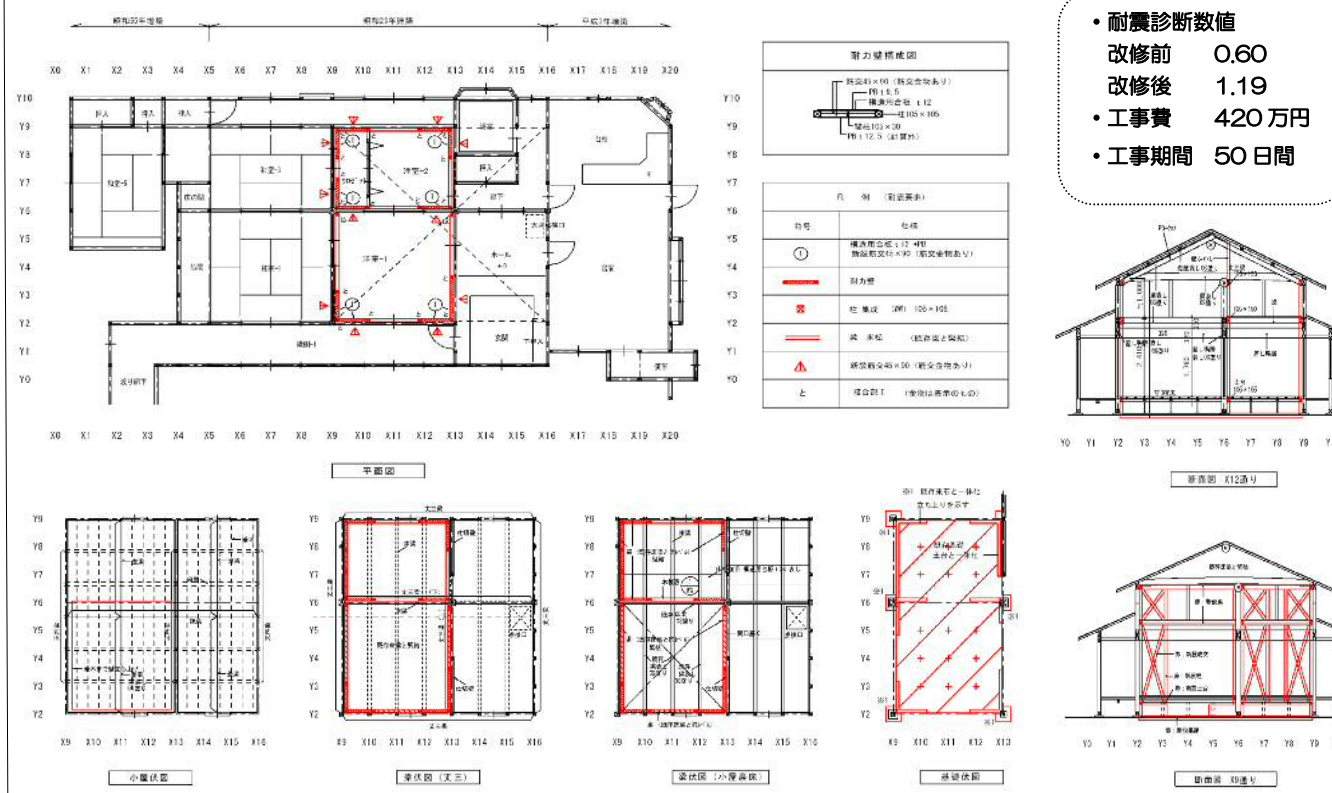
【工法の種類】筋交い・構造用合板による在来工法

【応募者名】  植村産業株式会社



◆建築物の概要◆

所在地：愛知県安城市市内
 用途：専用住宅 階数：1階
 規模：140.78㎡ 建築：昭和23年
 構造形式：木造在来工法



◆耐震改修工法の概要◆

＜耐震性＞
 建物の中心部分に基礎から新しいルームを築造し、既存のルームと一体化させることで、耐震性を向上させました。

＜施工性＞
 普段の生活に影響の少ない部分での改修で必要最小の部屋に限定したことで、スピーディーに施工を行うことができました。

＜居住性＞
 使っていなかった小屋裏を一体化、吹抜け空間にしたことで、気持ちの良い開放感のある空間を作ることができました。

＜経済性＞
 リフォーム希望のあった部分に改修範囲を絞り込むことで、無駄のない改修にすることができました。

＜その他＞
 既存の木材をできるだけ表しとし、存在感のある美しい木目を生かすよう心がけ、古民家の味わいある雰囲気を出しました。

◆問題点と解決方法◆

立ちの高い2階建てにも相当する建物の補強方法は苦心しました。既存ルームの内側に沿うように新たなルームを作り、立ちが高いため、差し鴨居の上部で新しい梁、桁を廻し、筋交いを2段にしさらに構造用合板を張り、耐震壁としました。基礎が弱点でもあったので、2間続きの鉄筋コンクリートの基礎とし土台も新造しています。苦心したのは、既存ルームとの一体化、特に野物の梁との部分でした。



【講評】

木造住宅の中心部にある和室2間を耐震補強することにより補強エリアを最小限にとどめた耐震改修事例である。また、既存フレームの内側にフレームを新設し、新設フレームに筋かいあるいは構造用合板を用いて耐震補強をしている点が特徴的であり、フレームの一体化にも注意を払っている。併せて耐力壁が有効に働くようにべた基礎も新設している。要望に応じた補強方法となっており、以上の点を評価し最優秀賞に選出した。